

会報

さくゆう

Sakuyu

No.169

2023年(令和5年)3月31日



作友会 〒461-0004 愛知県名古屋市中区葵3-19-7 TEL 052-935-2382 FAX 052-935-2390

Contents

表紙・目次	1	会員企業訪問(有限会社知多重機)	12-13
工事紹介	2-3	グリーンサイト優良企業インタビュー(株式会社沢野商会)	14-15
指差呼称	4-5	作友会活動のあしあと(2022年10月~3月)	16
若手技能者インタビュー(有限会社ビレネーエキスパート)	6-7	四コマ漫画	16
THE 神業 一専門工事密着取材(株式会社岩倉組)	8-9	編集後記	16
思い出の現場(株式会社松原興業)	10-11		

木田の里 新築工事

当現場は主要用途が
A棟の温浴施設では
近隣住民の方々から

異なる建物を3棟同時につくる現場です。
東海市で唯一のスーパー銭湯になるということで、
期待されている建物になります。



A 就労障がい者 継続支援事業

温浴施設、レストラン、高齢者デイサービス

構造・階数：S造・地上3階
敷地面積：2,999.3 m²
延床面積：2,778.11 m²
最高高さ：15.22 m

B 児童関連施設

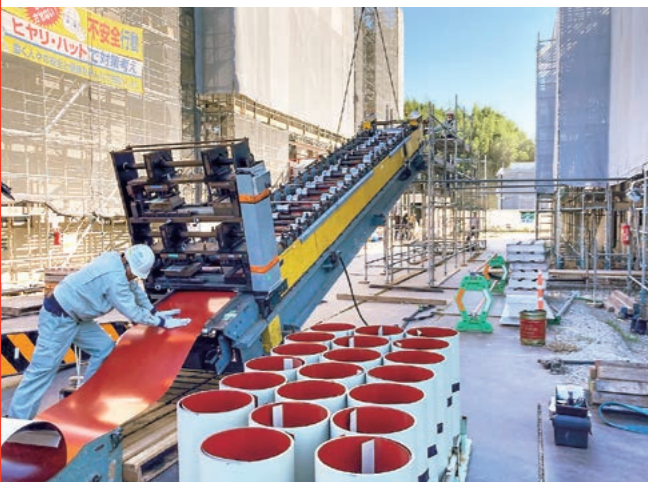
保育園、放課後デイ、児童発達支援

構造・階数：S造・地上2階
敷地面積：1,379.7 m²
延床面積：738.09 m²
最高高さ：9.65 m

C 高齢者関連施設

サービス付き高齢者向け住宅36戸

構造・階数：S造・地上4階
敷地面積：2,995.18 m²
延床面積：2,540.6 m²
最高高さ：14.7 m



矢作建設工業株式会社
建築事業本部
施工本部 第二工事部 **三浦弘貴さん**

●現場を紹介してください。
温浴施設、保育園、サービス付き高齢者向け住宅の3棟を同時に工事している現場です。各棟用途が異なるため、棟ごとに利用者のことを考慮しながら施工しています。僕はA棟を担当しました。はじめて、温泉を施設をつくりましたが、お風呂が完成したときは感動しました。
●現場で特に力を入れて取り組んでいることを教えてください。
常に利用者目線で考え、使いやすい建物づくりに力を入れています。



矢作建設工業株式会社
施工本部 第二工事部 **渡邊悠生さん**

●現場を紹介してください。
僕は、主にC棟のサービス付き高齢者向け住宅を担当しました。利用者が使いやすい・生活しやすい建物をつくるように心掛けました。
●現場で特に力を入れて取り組んでいることを教えてください。
作業開始前の協力会社さんとの打ち合わせに力を入れています。仮設として何を使うのか、何人で作業をするのか等、安全を第一に考え打ち合わせをしています。打ち合わせを密に行うことで、職人さんとの信頼関係が深まり、何か不具合があったときはその都度連絡を取り合い、打ち合わせをして現場を進めています。



矢作建設工業株式会社
施工本部 第二工事部 **田内夕貴さん**

●現場を紹介してください。
私は赤い丸屋根の保育園の施工を担当しました。
●現場で特に力を入れて取り組んでいることを教えてください。
作業員さんと日々のコミュニケーションを取り、信頼関係を築くことを心掛けています。頼み事を聞いてもらいやすくなったり、相談しやすい環境づくりに繋がるのでコミュニケーションの大切さを実感しています。



矢作建設工業株式会社
施工本部 第二工事部 **チョウゼインさん**

●現場を紹介してください。
僕は、A棟の温泉施設、レストラン、高齢者デイサービス施設を担当しました。
●現場で特に力を入れて取り組んでいることを教えてください。
翌日に作業ができるように事前の打ち合わせを行って必要な段取りを確認します。建設機械を使用する作業については作業計画書を前日に作成して計画をたてることに力を入れました。



株岡本工務店
職工 **岩城 篤さん**

●矢作建設の印象を教えてください。
職員さんや他職の人とも、とてもコミュニケーションがとりやすいと思います。いろいろな質問に対して迅速に対応してもらえます。
●現場を良くするために、心掛けていることを教えてください。
他職の作業に対して、安全性・作業性を常に考えつつ、安全第一で、作業していくことを心掛けています。また、どれだけ慣れている作業に対しても、初心に戻り安全作業で取り組むことを忘れないようにしています。



し さ
指差

こ しょう
呼称

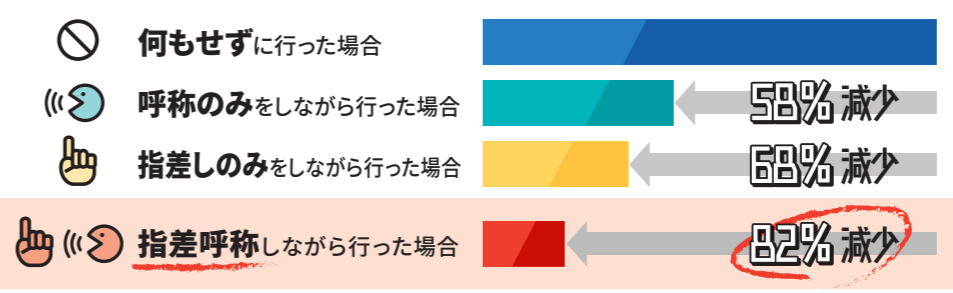
💡 指差呼称のメリット

指差呼称の効果は以下の通りです

- 1 指差しにより**視線および注意**を対象物に向けることができる
- 2 指差しにより**行為を遅く**すすめることができる
- 3 呼称により**記憶が促進**される
- 4 呼称による音声の聴覚フィードバックにより**エラーに気づきやすくなる**
- 5 指差運動や呼称運動により**注意の低下を防ぐ**



公益財団法人鉄道総合技術研究所で行われた実験結果では、何もせずに行った場合に生じるエラーを100%とすると、以下の実験結果が出ました。



なるほど！指差呼称は効果抜群です。時間も、お金も、いらないし、いつでも、どこでも、一人できる。おまけにキビキビした指差呼称はカッコいい♡
あなたや仲間の身を守るための指差呼称を現場全体で声高らかに！

「笑顔ヨイカ！」
「笑顔ヨシ！」





若手技能者 インタビュー



—この仕事を始めたきっかけは何ですか？
 地元の先輩の紹介で仕事を始めました。

—今までで一番印象に残っている工事は何ですか？
 矢作建設の名古屋高速大高線白金修繕の現場です。初めての現場で長期に渡る工事を経験したのでとても印象に残っています。夜間工事でも経験しました。騒音にとても気を遣いながら工事を進めました。

—この仕事をしていていいと思うことは何ですか？
 何もない状態で足場を組み、建物が完成した状態で足場を解体するので、工事の最初から最後まで見ることができるところが好きです。

—この仕事の苦労ややりがいは何ですか？
 最初は高所での仕事が怖かったですが、今は慣れてきてカッコイイと思います。何でも経験なのができています。何でも経験なの



おかだ ゆうが
岡田 雄雅さん

所属：有限会社ビレネーエキスパート
年齢：20歳（経験年数1年）

—この仕事を始めたきっかけは何ですか？
 高所での作業なのに度胸がすわったとび職にかっこよさを感じました。

—この仕事をしていていいと思うことは何ですか？
 高所での作業なので爽快感が感じません。下より上がずっといいです。下から見られて「カッコイイ」と思われている感じがいいです。

—この仕事の苦労ややりがいは何ですか？
 重たい物を運ぶことが多いので自然に筋肉が付きまします。今では体重が10kg増えるほど筋肉が付きましました。

—この仕事を始めた当初はしんどくて辞めたいと思うこともありましたが、仕事を早く

で、できなかったことができるようになってと仕事が楽しいです。

—この仕事の苦労ややりがいは何ですか？
 会社は20代前半の若い子が多く、仕事でもプライベートでも仲良くできています。週休二日制なので休みもしっかりあり無理なく働けます。

—仕事をする上で大切にしていることは何ですか？
 新築のものを傷つけないことです。また何より安全第一で仕事をしています。家族がいるからこそ毎日安全に家に帰ることを大切にしています。

—将来の展望は何ですか？
 もっと経験を積んで職長になりたいです。職長は動きも技量もやはりすごいです。自分も技量をもっと磨いていきたいです。



かわや みゆと
柏谷 美悠人さん

所属：有限会社ビレネーエキスパート
年齢：19歳（経験年数3年）

—この仕事を始めたきっかけは何ですか？
 覚えたい、中途半端で辞めたくないという思いで続けてきました。

—仕事をする上で大切にしていることは何ですか？
 ケガしないよう安全に作業をすることは当然ですが、でき上がった建物を傷つけないことを大切にしています。

—将来の展望は何ですか？
 身近に憧れの存在となる職長がいるので、その人のようになりたいと思っています。3年の経験を積んで自信も付いてきました。3年の職長と比べるとまだ大学生と小学生くらいの差を感じます。また人間としても尊敬できる方なので、私もそんな存在に早くになりたいです。

事務局から

柏谷さん、岡田さんお二人とも取材に対し「何でも聞いてください!!」と明るく笑顔で応えてくれたのがとても印象的でした。まだ若いお二人ですが、足場の仕事（とび職）に自信と誇りを持っておられると感じました。この仕事が本当に好きで「カッコイイ!、もっと力をつけて一人前になりたい」という熱い思いも語ってくださいました。とび・土木工事業の若手ホープとして今後の活躍を大いに期待します♪





動画はこちら

<https://youtu.be/To8bHlqjLQY>



THE カミワザ 神業

専門工事密着取材

今回紹介する「神業」は、みんなが寝静まる夜間に人知れず行われているレール交換工事です。レールの中でも200m以上の長さのものをロングレールといいます。今回は、犬山線のロングレール交換を取材しました。

事務局から

軌道工事は、土木工事の中でも特に専門性の強い工種の一つです。厳しい時間工程の中、一人ひとりに明確な役割があり、テキパキと作業を進めます。今回の300mの間には、カーブもあるし、ATSなどのたくさんの電気・信号設備もあります。それぞれの会社とも打ち合わせを密にして円滑に進めることも大切な「神業」だと感じました。寒い日の夜勤は辛いです。皆さんのおかげで日本のインフラが支えられています。

この仕事の魅力は？

自分たちがつくった線路の上に始発列車が通る瞬間は、大きな達成感と安堵が入り混じり感動しますね。

仕事をやる上で最も大事にしていることは？

やはり、ダイヤが決まっているので、始発列車に間に合わせる事です。大規模な線路閉鎖作業でも、4:30AMには、現場をキレイに完成させなければなりません。

どんな段取りでやるのでしょうか？

1本25mのレールを工場で50mに溶接し、夜間にレール運搬車（モーターカー）を用いて現地に運搬します。別の日に、それを現地でさらに溶接して、今回の施工延長に合わせて1本300mのロングレールにします。レールの交換当夜には、端から既設レールの締結ボルトを緩め、軌陸バックホウ2台の相吊り

今回の工事は、どんな工事ですか？

ロングレールへの交換は、作業工程がタイトです。工事延長は300mなので、それほど長くはないのですが、カーブになっている分、調整に時間がかかります。



(軌道工事担当) 株式会社岩倉組 職長

阿式昭人さん

(経験24年)

思い出の現場

土木

現場名

工事名称：令和2年度
247号西知多道路
東海JCT・Hランプ
橋下部工事

工事場所：愛知県東海市 新宝町

工事期間：2020年12月1日～
2023年1月30日

どのような現場でしたか

鋼矢板を打設するに当たって：国道302号と近接しており、歩道の一部を夜間占用して施工しました。また、上部に高速道路の桁があったことと、非常に固い地盤だったため、硬質地盤対応型油圧圧入機での継施工になりました。継施工箇所、矢板の割付、桁とのクリアランス等を圧入メーカーとも検討して施工しました。

苦労したこと、失敗談など

いざ機械を搬入すると：想像以上に狭く、国道近接時はオーガの排土等の飛散養生にも気を使いました。夜間作業では、朝までに解放しなければいけないため、機械の移動や片付等、狭い現場の中でのやり繰りに苦労しました。最大の難関は桁下での、ロックオーガの切り離し。

継作業と鋼矢板の溶接継施工でした。夜間作業は視界が限られるため、こうした既設構造物への接触には、特に注意しました。

思い出に残っていること、喜び・感動したこと

何といっても、最大の難関であった桁下空間を無事に抜けたときは、感動の気持ちが湧き上がりました。でも、正直、安堵の気持ちが強かったです。先日、近くまで行きましたので寄り道したところ、奇麗な橋脚が完成しており、感慨深いものがありました。

当時の矢作建設社員や作友会員（協力会社）に向けてメッセージ

夜間作業中に急遽、大型土嚢が必要となり、矢作建設工業さんの職員の方達も一緒に、慣れない手つきで袋詰めしました。何だか親しみが湧いて、より一層近づけたような気がします。今後ともこんなご縁を大切に、仕事をさせて頂けたらと思っております。

株式会社松原興業
代表取締役社長

松原 勇喜



会員企業 訪問 Report

今回は、大規模な桁架設から高所への繊細な荷上げまでおまかせのクレーン仕事(有限会社知多重機さん)を紹介します。



有限会社 知多重機

所在地：愛知県東海市
業種：とび・土工事業
代表者：代表取締役 小島章裕

Pick up!



会社の理念、目指すべきものを教えてください。

入社時に「知多重機 心得」という理念をまとめたものを渡します。これは、仕事に対する心がけや、成長してほしい姿を示す手引書のような物です。年に一度は、社員一人ひとりと面談をし、自身の達成度やこれからの目標を共有しています。やる気・意欲のある人には、会社として免許の取得等の支援をしています。

社内で工夫していることは？

社員は出勤時と帰宅時は必ず会社から出発し会社に戻ります。個々の現場での注意事項や伝達事項を必ず社内で共有しています。共有することで仕事をする上でのさまざまな意識が高まり、仕事も順調に捗ります。またおのずとコミュニケーションも良い状態ができます。



自らが誇りとしているところは？

当社には若手を育てる超ベテランの教育係(72歳)があり、オペレーターの運転技術を継承するため日々奮闘してくれています。若手を現場に連れて行き

マンツーマンで指導をしますが、現場では自ら率先して動き、実経験に基づく細やかな指導を行っています。今日に至るまで後進の指導育成に全てをそそがれており、社内でも本場にありがたい存在です。令和3年には、「瑞宝単光章」を受

今まで印象に残った現場は？

犬山遊園でのモノレール撤去の現場で

始などの工事でも快く引き受け、社員が本当によく仕事をしてくれています。他社ができないような工事も積極的にやっています。

事務局から
取材に応じていただいた小島社長、とても温和で社員思いの優しい方でした。ご本人の写真撮影を依頼した時、とても恥ずかしそうに謙遜されている様子が印象的でした。会社の敷地内には巨大なクレーン重機が何台もありその迫力に圧倒されました。どの重機もピカピカに整備されていました。重機のグリーンカラーは安全第一!とのこと。重機を誇らしくまた大切に見る小島社長の熱い眼差しを感じました。

自らが得意としているところは？

いただいた仕事は断らないということです。全力でやり切ります。年末年

解体途中に土器が出てきたことがあり印象深かったです。

若くして経営者となった苦労話やエピソードはありますか？

今もそうですがとにかく毎日が真剣勝負で気が抜けないです。社員が日々本当に熱心に仕事をしてくれているおかげで私も頑張れています。皆の頑張りに救われています。



グリーンサイト業務の体制が確立

矢作 御社の工事現場数は、年間どれくらいありますか？
伊藤 約200件程だと思います。ただし、グリーンサイトを使用していない現場も何件あります。

矢作 御社のグリーンサイト業務のご担当は？
伊藤 安全関係書類は、榎木さんと林さんの担当2名でやっております。

矢作 御社は現場入場前にしっかり提出してもらっていますし、再提出の場合にも、どこが変更になったかコメントして下さるので、とてもわかりやすいです。特に下位の協力会社さんからの書類がしっかり管理されていますが、どのように把握されているのでしょうか。

2次下請会社にもグリーンサイトの担当者がある

榎木 当社の職員がいつから現場が始まるとか、下位企業はどこになるとか、事前に連絡を入れてくるようになってきます。また、2次会社にもグリーンサイトの担当者がある会社が多いので、書類の事前提出ができません。

林 下位企業へ是正指示をする場合は、どこを直したか示してもらいようにコメントしています。下位企業への指示内容をメモしているから何が直ったか分かります。

矢作 番頭さんがグリーンサイト担当を兼務している会社は、うまくいっていないところが多いですね。忙しいでタイムリーな対応ができないようです。今の沢野商会さんのグリーンサイトの体制が整ったのはいつごろでしょうか？

伊藤 最初の頃は、僕が総務の仕事しながらやっておりましたが、10年前頃からグリーンサイトの担当を置くようになりました。

矢作 グリーンサイトを主に担当する社員を置くというのは、経営トップが安全を重視していることの表れのように思いますね。

経営トップが安全に対して、ものすごく気を使っている

榎木 経営者は安全に対して、ものすごく気を使っている。安全大会などで、「違法なやり方はいかん」と口酸っぱく言われている。

矢作 そういった姿勢の協力会社さんが増えるように促していきたいですね。

矢作 安全書類をきちんと出されるところは事故も減っていますよ。

矢作 グリーンサイトをやっていて、今までこれは厳しかったなと感じたことは、どんなことですか？

職人さんがグリーンサイトを兼務している会社は苦勞しています

伊藤 2次以下の会社さんで職人さんが書類作成を兼務しているケースがあります。こういった場合、なかなか書類が揃わなくて苦勞することもあります。

矢作 できれば専属のグリーンサイト担当を置いて欲しいですね。

矢作 他の協力会社さんでありがちなんですけど、今までグリーンサイトをやってきた担当がやめてしまった方が何もわからないということもあります。これも結構ツライですね。

榎木 うちは、手順書を作っています。また、担当者が常に2人以上います。

林 矢作さんがグリーンサイトの掲示板に出している

2023.1.23

第1回

株式会社

沢野商会
さん

グリーンサイト 優良企業インタビュー

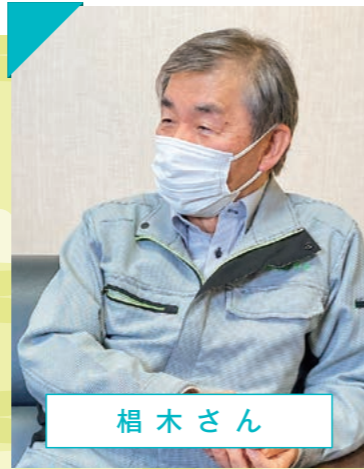
これまで、グリーンサイトの記事は、「協力会社の皆様へのお願い事項」等が主になっていましたが、今回からは趣を変えて、グリーンサイトの管理状況が良好な企業からその管理方法を皆さんにお伝えしていきたいと思っております。



伊藤 課長



林さん



榎木さん

「再下請負通知書のチェックポイント」は、重点ポイントがわかるのでありがたいです。こういう資料も参考になります。

矢作 では次に「うまくいったなあ」というエピソードをお聞かせください。

榎木 前と比べてよくなったのは下請契約書。昔はきつちりやっています。今は2次3次も全部やるようになりました。指導してきたおかげです。

矢作 管理できるようになっているということですね。

施工体制台帳管理表で下位企業の提出状況をチェック

榎木 施工体制台帳管理表で×(未提出)が少なくなってきたります。出てきていないところに、しつこくメールしたり、コメントしたりしています。さすがに何度も言えは出してくるようになりますね。

矢作 下位の協力会社さんをよく指導されていることがわかります。現場の事務員さんも事前に言ってくれるので仕事がやりやすいと言っていました。

榎木 元請の立場になって、何をやらばいいかを考えながらやっています。難しいのは、どこの現場・どこの企業に何を言ったか忘れてしまうことがあり、放っておく

とお叱りが来るので、ノートに記録して、たまに見直し確認しています。

下位企業の労災保険特別加入のチェックリストで管理

矢作 労災保険特別加入のチェックはどのようにされていますか？

榎木 名簿を作って、有効期限を書いて名前をつけて管理しています。グリーンサイト登録時にチェックして、不備があれば電話で確認しています。

矢作 沢野商会さんからの矢作建設に対するご要望などがあればお聞かせください。

林 要望は特にはないです。わからないこともいろいろ教えてください。

榎木 グリーンサイト以外のシステムで労務安全書類を提出することが時々ありますが、グリーンサイトが1番見やすく、使いやすいです。できればグリーンサイトで続けて欲しいですね。

◆事務局から

貴重なご意見としてお聞きしました。お忙しいところありがとうございます。



作友会活動の あしあと



あるとび職人の話



作画：ひなたゆうべ

● **全国労働衛生週間特別パトロール**
10月に作友会員9社と矢作建設役職員延べ41名が19現場のパトロールを実施しました。

● **年末年始労働災害防止強調期間特別パトロール**
12月に作友会員12社と矢作建設役職員延べ39名が19現場のパトロールを実施しました。

● **作友会・矢作建設合同安全祈願祭**
建築部会（作友会役員のみ）は1月6日に犬山成田山、建築部会は1月23日に熱田神宮にて行われ、土木部会（役員のみ）は1月19日に熱田神宮にて行われ、作友会員幹部延べ88名と矢作建設役職員46名が参加し本年の安全を祈願しました。

● **オンライン安全塾**
10月、11月、12月、1月、2月、3月に開催し、延べ738名が参加しました。

● **鉄道近接施工者教育**
10月、11月、12月、1月、3月に開催し、延べ110名が参加しました。

● **建築部会安全パトロール**
11月、1月、2月に建築部会会員6社

と矢作建設職員延べ8名が3現場のパトロールを実施しました。

● **第49、50回建築部会**
11月、1月に開催し、矢作建設工業(株)本社には建築部会役員延べ22名と矢作建設役職員延べ22名、オンラインでは建築部会役員延べ93名が参加しました。

● **年度末特別パトロール**
3月に作友会員9社と矢作建設役職員延べ50名が26現場のパトロールを実施しました。

● **書籍配布**
安全衛生法令早見表を全会員に配布。作業に必要な資格の確認や安全管理のレベルアップにご活用ください。

編集後記

作友会の皆様、いつもお世話になっております。事務局の大澤です。この度、二度目のさくゆう会報誌の制作に携わらせていただきました。今回169号も無事に完成することができ喜びもひとしおです。

紙面制作の中で取材に伺う機会がありますが、私は実際に作友会会員の皆様にお会いできるこの機会が大好きです。今回はどんなお話が伺えるかな〜!と取材前からワクワクしています。対面でのお話はやっぱりいいですね!実際に会って対話をする中で共感することや感動することがたくさんあります。また大切にしていることは『よく聞く』ことです。しっかりと聞くことは学ぶことでもあり、何より相手を尊重することでもあります。取材とは言えこうした対面での人と人の交流は、心が通いあえる場となるので大切にしていきたいです!今後より多くの会員の皆様と絆を深めていけたら...と思います。

また、取材内容は勿論のこと、お話を伺った方の表情やその場の雰囲気もしっかり皆様にお伝えできるよう、心を配りながら紙面制作をしています。今回も会員皆様の素敵な記事、そしてたくさんの方の笑顔の写真を紙面に掲載することができとても嬉しく思います!最後になりましたが、紙面にご協力いただきました皆様、お忙しい中誠にありがとうございます。

春本番の季節を迎えます!人間同士の交流の場へ足取りも軽く対話の旅に出かけましょう!

(作友会事務局 大澤)



し さ
指差

こ しょう
呼称

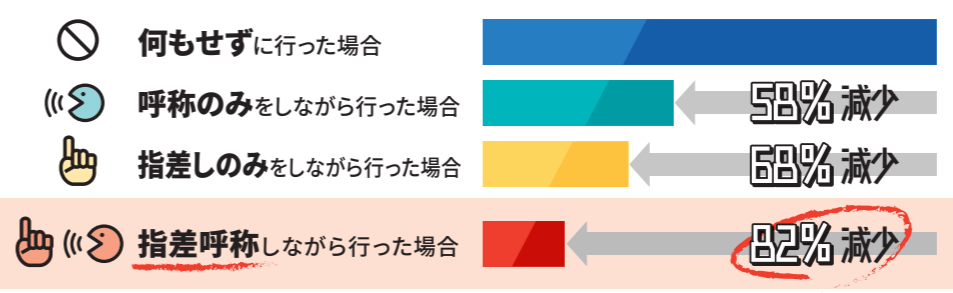
💡 指差呼称のメリット

指差呼称の効果は以下の通りです

- 1 指差しにより**視線および注意**を対象物に向けることができる
- 2 指差しにより**行為を遅く**すすめることができる
- 3 呼称により**記憶が促進**される
- 4 呼称による音声の聴覚フィードバックにより**エラーに気づきやすくなる**
- 5 指差運動や呼称運動により**注意の低下を防ぐ**



公益財団法人鉄道総合技術研究所で行われた実験結果では、何もせずに行った場合に生じるエラーを100%とすると、以下の実験結果が出ました。



なるほど！指差呼称は効果抜群です。時間も、お金も、いらぬし、いつでも、どこでも、一人できる。おまけにキビキビした指差呼称はカッコいい♡
あなたや仲間の身を守るための指差呼称を現場全体で声高らかに！

「笑顔ヨイカ！」
「笑顔ヨシ！」





若手技能者 インタビュー



—この仕事を始めたきっかけは何ですか？
地元の先輩の紹介で仕事を始めました。

—今までで一番印象に残っている工事は何ですか？
矢作建設の名古屋高速大高線白金修繕の現場です。初めての現場で長期に渡る工事を経験したのでとても印象に残っています。夜間工事でも経験しました。騒音にとても気を遣いながら工事を進めました。

—この仕事をしていていいと思うことは何ですか？
何もない状態で足場を組み、建物が完成した状態で足場を解体するので、工事の最初から最後まで見ることができるところが好きです。

—この仕事の苦労ややりがいは何ですか？
最初は高所での仕事が怖かったですが、今は慣れてきてカッコイイと思います。何でも経験なのができています。何でも経験なの



おかだ ゆうが
岡田 雄雅さん

所属：有限会社ビレネーエキスパート
年齢：20歳（経験年数1年）

—この仕事を始めたきっかけは何ですか？
高所での作業なのに度胸がすわったとび職にかっこよさを感じました。

—この仕事をしていていいと思うことは何ですか？
高所での作業なので爽快感がありません。下より上がずっといいです。下から見られて「カッコイイ」と思われている感じがいいです。

—この仕事の苦労ややりがいは何ですか？
重たい物を運ぶことが多いので自然に筋肉が付きまします。今では体重が10kg増えるほど筋肉が付きましました。

—仕事を始めた当初はしんどくて辞めたいと思うこともありましたが、仕事を早く

で、できなかったことができるようになってと仕事が楽しいです。

—仕事を早くしていいと思うことは何ですか？
会社は20代前半の若い子が多く、仕事でもプライベートでも仲良くできています。週休二日制なので休みもしっかりあり無理なく働けます。

—仕事をする上で大切にしていることは何ですか？
新築のものを傷つけないことです。また何より安全第一で仕事をしています。家族がいるからこそ毎日安全に家に帰ることを大切にしています。

—将来の展望は何ですか？
もっと経験を積んで職長になりたいです。職長は動きも技量もやはりすごいです。自分も技量をもっと磨いていきたいです。



かわや みゆと
柏谷 美悠人さん

所属：有限会社ビレネーエキスパート
年齢：19歳（経験年数3年）

—仕事を早くしていいと思うことは何ですか？
ケガしないよう安全に作業をすることは当然ですが、でき上がった建物を傷つけないことを大切にしています。

—将来の展望は何ですか？
身近に憧れの存在となる職長がいるので、その人になりたいと思っています。3年の経験を積んで自信も付いてきました。3年の職長と比べるとまだ大学生と小学生くらいの差を感じます。また人間としても尊敬できる方なので、私もそんな存在に早くになりたいです。

事務局から

柏谷さん、岡田さんお二人とも取材に対し「何でも聞いてください!!」と明るく笑顔で応えてくれたのがとても印象的でした。まだ若いお二人ですが、足場の仕事（とび職）に自信と誇りを持っておられると感じました。この仕事が本当に好きで「カッコイイ!、もっと力をつけて一人前になりたい」という熱い思いも語ってくださいました。とび・土木工事業の若手ホープとして今後の活躍を大いに期待します♪





動画はこちら

<https://youtu.be/To8bHlqjLQY>



THE カミワザ 神業

専門工事密着取材

今回紹介する「神業」は、みんなが寝静まる夜間に人知れず行われているレール交換工事です。レールの中でも200m以上の長さのものをロングレールといいます。今回は、犬山線のロングレール交換を取材しました。

事務局から

軌道工事は、土木工事の中でも特に専門性の強い工種の一つです。厳しい時間工程の中、一人ひとりに明確な役割があり、テキパキと作業を進めます。今回の300mの間には、カーブもあるし、ATSなどのたくさんの電気・信号設備もあります。それぞれの会社とも打ち合わせを密にして円滑に進めることも大切な「神業」だと感じました。寒い日の夜勤は辛いです。皆さんのおかげで日本のインフラが支えられています。

この仕事の魅力は？

自分たちがつくった線路の上に始発列車が通る瞬間は、大きな達成感と安堵が入り混じり感動しますね。

仕事をする上で最も大事にしていることは？

やはり、ダイヤが決まっているので、始発列車に間に合わせる事です。大規模な線路閉鎖作業でも、4:30AMには、現場をキレイに完成させなければなりません。

どんな段取りでやるのでしょうか？

1本25mのレールを工場で50mに溶接し、夜間にレール運搬車（モーターカー）を用いて現地に運搬します。別の日に、それを現地でさらに溶接して、今回の施工延長に合わせて1本300mのロングレールにします。レールの交換当夜には、端から既設レールの締結ボルトを緩め、軌陸バックホウ2台の相吊り

今回の工事は、どんな工事ですか？

ロングレールへの交換は、作業工程がタイトです。工事延長は300mなので、それほど長くはないのですが、カーブになっている分、調整に時間がかかります。



(軌道工事担当) 株式会社岩倉組 職長

阿式昭人さん

(経験24年)

思い出の現場

土木

現場名

工事名称：令和2年度
247号西知多道路
東海JCT・Hランプ
橋下部工事

工事場所：愛知県東海市 新宝町

工事期間：2020年12月1日～
2023年1月30日

どのような現場でしたか

鋼矢板を打設するに当たって：国道302号と近接しており、歩道の一部を夜間占用して施工しました。また、上部に高速道路の桁があったことと、非常に固い地盤だったため、硬質地盤対応型油圧圧入機での継施工になりました。継施工箇所、矢板の割付、桁とのクリアランス等を圧入機メーカーとも検討して施工しました。

苦労したこと、失敗談など

いざ機械を搬入すると：想像以上に狭く、国道近接時はオーガの排土等の飛散養生にも気を使いました。夜間作業では、朝までに解放しなければいけないため、機械の移動や片付等、狭い現場の中でのやり繰りに苦労しました。最大の難関は桁下での、ロックオーガの切り離し・

継作業と鋼矢板の溶接継施工でした。夜間作業は視界が限られるため、こうした既設構造物への接触には、特に注意しました。

思い出に残っていること、喜び・感動したこと

何といっても、最大の難関であった桁下空間を無事に抜けたときは、感動の気持ちが湧き上がりました。でも、正直、安堵の気持ちが強かったです。先日、近くまで行きましたので寄り道したところ、奇麗な橋脚が完成しており、感慨深いものがありました。

当時の矢作建設社員や作友会員（協力会社）に向けてメッセージ

夜間作業中に急遽、大型土嚢が必要となり、矢作建設工業さんの職員の方達も一緒に、慣れない手つきで袋詰めしました。何だか親しみが湧いて、より一層近づけたような気がします。今後ともこんなご縁を大切に、仕事をさせて頂けたらと思っております。

株式会社松原興業
代表取締役社長

松原 勇喜



会員企業 訪問 Report

今回は、大規模な桁架設から高所への繊細な荷上げまでおまかせのクレーン仕事（有限会社知多重機さん）を紹介します。



有限会社 知多重機

所在地：愛知県東海市
業種：とび・土工事業
代表者：代表取締役 小島章裕

Pick up!



会社の理念、目指すべきものを教えてください。

入社時に「知多重機 心得」という理念をまとめたものを渡します。これは、仕事に対する心がけや、成長してほしい姿を示す手引書のような物です。年に一度は、社員一人ひとりと面談をし、自身の達成度やこれからの目標を共有しています。やる気・意欲のある人には、会社として免許の取得等の支援をしています。

社内で工夫していることは？

社員は出勤時と帰宅時は必ず会社から出発し会社に戻ります。個々の現場での注意事項や伝達事項を必ず社内で共有しています。共有することで仕事をする上でのさまざまな意識が高まり、仕事も順調に捗ります。またおのずとコミュニケーションも良い状態ができます。

自らが誇りとしているところは？

当社には若手を育てる超ベテランの教育係（72歳）があり、オペレーターの運転技術を継承するため日々奮闘してくれています。若手を現場に連れて行き



マンツーマンで指導をしますが、現場では自ら率先して動き、実経験に基づく細やかな指導を行っています。今日に至るまで後進の指導育成に全てをそそがれており、社内でも本場にありがたい存在です。令和3年には、「瑞宝単光章」を受

今まで印象に残った現場は？

犬山遊園でのモノレール撤去の現場で

始などの工事でも快く引き受け、社員が本当によく仕事をしてくれています。他社ができないような工事でも積極的にやっています。

自らが得意としているところは？

いただいた仕事は断らないということです。全力でやり切ります。年末年

賞しました。まさに会社の「宝」です。

解体途中に土器が出てきたことがあり印象深かったです。

若くして経営者となった苦労話やエピソードはありますか？

今もそうですがとにかく毎日が真剣勝負で気が抜けないです。社員が日々本当に熱心に仕事をしてくれているおかげで私も頑張れています。皆の頑張りに救われています。

事務局から

取材に応じていただいた小島社長、とても温和で社員思いの優しい方でした。ご本人の写真撮影を依頼した時、とても恥ずかしそうに謙遜されている様子が印象的でした。会社の敷地内には巨大なクレーン重機が何台もありその迫力に圧倒されました。どの重機もピカピカに整備されていました。重機のグリーンカラーは安全第一!とのこと。重機を誇らしくまた大切に見る小島社長の熱い眼差しを感じました。



グリーンサイト業務の体制が確立

矢作 御社の工事現場数は、年間どれくらいありますか？
伊藤 約200件程だと思います。ただし、グリーンサイトを使用していない現場も何件あります。

矢作 御社のグリーンサイト業務のご担当は？

伊藤 安全関係書類は、榎木さんと林さんの担当2名でやっております。

矢作 御社は現場入場前にしっかり提出してもらっていますし、再提出の場合にも、どこが変更になったかコメントして下さるので、とてもわかりやすいです。特に下位の協力会社さんからの書類がしっかり管理されていますが、どのように把握されているのでしょうか。

2次下請会社にもグリーンサイトの担当者がある

榎木 当社の職員がいつから現場が始まるとか、下位企業はどこになるとか、事前に連絡を入れてくるようになってきます。また、2次会社にもグリーンサイトの担当者がある会社が多いので、書類の事前提出ができません。

林 下位企業へ是正指示をする場合は、どこを直したか示してもらいようにコメントしています。下位企業への指示内容をメモしているから何が直ったか分かります。

矢作 番頭さんがグリーンサイト担当を兼務している会社は、うまくいっていないところが多いですね。忙しいでタイムリーな対応ができないようです。今の沢野商会さんのグリーンサイトの体制が整ったのはいつごろでしょうか？

伊藤 最初の頃は、僕が総務の仕事しながらやっていたんですが、10年前頃からグリーンサイトの担当を置くようになりました。

矢作 グリーンサイトを主に担当する社員を置くというのは、経営トップが安全を重視していることの表れのように思いますね。

経営トップが安全に対して、ものすごく気を使っている

榎木 経営者は安全に対して、ものすごく気を使っている。安全大会などで、「違法なやり方はいかん」と口酸っぱく言われている。

矢作 そういった姿勢の協力会社さんが増えるように促していきたいですね。

矢作 安全書類をきちんと出されるところは事故も減っていきまますよね。

矢作 グリーンサイトをやっていて、今までこれは厳しかったなと感じたことは、どんなことですか？

職人さんがグリーンサイトを兼務している会社は苦勞しています

伊藤 2次以下の会社さんで職人さんが書類作成を兼務しているケースがあります。こういった場合、なかなか書類が揃わなくて苦勞することもあります。

矢作 できれば専属のグリーンサイト担当を置いて欲しいですね。

矢作 他の協力会社さんでありがちなんですけど、今までグリーンサイトをやってきた担当がやめてしまった方が何もわからないということもあります。これも結構ツライですね。

榎木 うちは、手順書を作っています。また、担当者が常に2人以上います。

林 矢作さんがグリーンサイトの掲示板に出している

2023.1.23

第1回

株式会社

沢野商会
さん

グリーンサイト 優良企業インタビュー

これまで、グリーンサイトの記事は、「協力会社の皆様へのお願い事項」等が主になっていましたが、今回からは趣を変えて、グリーンサイトの管理状況が良好な企業からその管理方法を皆さんにお伝えしていきたいと思っております。

「再下請負通知書のチェックポイント」は、重点ポイントがわかるのでありがたいです。こういう資料も参考になります。

矢作 では次に「うまくいったなあ」というエピソードをお聞かせください。

榎木 前と比べてよくなったのは下請契約書。昔はきつちりやっていますませんでした。今は2次3次も全部やるようになりました。指導してきたおかげです。

矢作 管理できるようになっているということですね。

施工体制台帳管理表で下位企業の提出状況をチェック

榎木 施工体制台帳管理表で×(未提出)が少なくなってきたります。出てきていないところに、しつこくメールしたり、コメントしたりしています。さすがに何度も言えは出してくるようになりますね。

矢作 下位の協力会社さんをよく指導されていることがわかります。現場の事務員さんも事前に言ってくれるので仕事がやりやすいと言っていました。

榎木 元請の立場になって、何をやらばいいかを考えながらやっています。難しいのは、どこの現場・どこの企業に何を言ったか忘れてしまうことがあり、放っておく

とお叱りが来るので、ノートに記録して、たまに見直し確認しています。

下位企業の労災保険特別加入のチェックリストで管理

矢作 労災保険特別加入のチェックはどのようにされていますか？

榎木 名簿を作って、有効期限を書いて名前をつけて管理しています。グリーンサイト登録時にチェックして、不備があれば電話で確認しています。

矢作 沢野商会さんからの矢作建設に対するご要望などがあればお聞かせください。

林 要望は特にはないです。わからないこともいろいろ教えてください。

榎木 グリーンサイト以外のシステムで労務安全書類を提出することが時々ありますが、グリーンサイトが1番見やすく、使いやすいです。できればグリーンサイトで続けて欲しいですね。

◆事務局から

貴重なご意見としてお聞きしました。お忙しいところありがとうございます。



作友会活動の あしあと



あるとび職人の話



作画：ひなたゆうべ

● **全国労働衛生週間特別パトロール**
10月に作友会員9社と矢作建設役職員延べ41名が19現場のパトロールを実施しました。

● **年末年始労働災害防止強調期間特別パトロール**
12月に作友会員12社と矢作建設役職員延べ39名が19現場のパトロールを実施しました。

● **作友会・矢作建設合同安全祈願祭**
建築部会（作友会役員のみ）は1月6日に犬山成田山、建築部会は1月23日に熱田神宮にて行われ、土木部会（役員のみ）は1月19日に熱田神宮にて行われ、作友会員幹部延べ88名と矢作建設役職員46名が参加し本年の安全を祈願しました。

● **オンライン安全塾**
10月、11月、12月、1月、2月、3月に開催し、延べ738名が参加しました。

● **鉄道近接施工者教育**
10月、11月、12月、1月、3月に開催し、延べ110名が参加しました。

● **建築部会安全パトロール**
11月、1月、2月に建築部会会員6社

と矢作建設職員延べ8名が3現場のパトロールを実施しました。

● **第49、50回建築部会**
11月、1月に開催し、矢作建設工業（株）本社には建築部会役員延べ22名と矢作建設役職員延べ22名、オンラインでは建築部会役員延べ93名が参加しました。

● **年度末特別パトロール**
3月に作友会員9社と矢作建設役職員延べ50名が26現場のパトロールを実施しました。

● **書籍配布**
安全衛生法令早見表を全会員に配布。作業に必要な資格の確認や安全管理のレベルアップにご活用ください。

編集後記

作友会の皆様、いつもお世話になっております。事務局の大澤です。この度、二度目のさくゆう会報誌の制作に携わらせていただきました。今回169号も無事に完成することができ喜びもひとしおです。

紙面制作の中で取材に伺う機会がありますが、私は実際に作友会会員の皆様にお会いできるこの機会が大好きです。今回はどんなお話が伺えるかな〜!と取材前からワクワクしています。対面でのお話の場はやっぱりいいですね!実際に会って対話をする中で共感することや感動することがたくさんあります。また大切にしていることは『よく聞く』ことです。しっかりと聞くことは学ぶことでもあり、何より相手を尊重することでもあります。取材とは言えこうした対面での人と人の交流は、心が通いあえる場となるので大切にしていきたいです!今後より多くの会員の皆様と絆を深めていけたら...と思います。

また、取材内容は勿論のこと、お話を伺った方の表情やその場の雰囲気もしっかり皆様にお伝えできるよう、心を配りながら紙面制作をしています。今回も会員皆様の素敵な記事、そしてたくさんの方の笑顔の写真を紙面に掲載することができとても嬉しく思います!最後になりましたが、紙面にご協力いただきました皆様、お忙しい中誠にありがとうございます。

春本番の季節を迎えます!人間同士の交流の場へ足取りも軽く対話の旅に出かけましょう!

(作友会事務局 大澤)